



あなたの知識が
「働く」を守る力に。



説明会／採用情報

労働基準監督官OPENゼミ

労働基準監督官は、労働条件の確保・向上、働く方の安全や健康の確保を図ることを目的とする厚生労働省の専門職員です(国家公務員)。

工場や建設現場などに立入指導を行うほか、法令や安全衛生の説明会、機械等の検査、労働災害発生時の調査等を通じて働く人の労働条件や安全衛生を守ります。

開催日

7月23日(木)～30日(木) + 8月3日(月)、6日(木)

内容

現役職員との座談会のほか、業務体験、職場見学など体験・参加型のプログラムを用意しています

※開催場所により、内容は異なります

対象

社会人、大学生、大学院生、短大・高専生、高校生等

高校生以上の方ならどなたでも参加できます。既卒者・社会人の方も大歓迎！

今回は主に理系の方向けに説明しますが、文系の方も参加できます。

お申し込み

開催労働局に直接申し込みください(裏面参照)

※メールやウェブサイトから申し込みます

※現地参加のほか、オンライン参加可能な日もあり、全国どこからでも視聴できます

モノは作らない・・・しかし

モノを作る人たちを守る仕事です

身の周りにある便利なモノは、どれも誰かが作ったもの。
安全で、適正な労働条件があってこそ、作れるもの。
ものづくりを含め働く人々を守り、支えるのが私たちの仕事です。

専門知識を活かした安全衛生指導、法令や安全衛生の説明会、
労働条件の立入調査、司法警察権限の行使—これらの積み重ねが、
労働環境を改善させ、働く人々の安全・安心に繋がります。



どういう人が監督官になっていますか？

幅広い学部・専攻の方が採用されています。
工場や建設現場等にも立ち入るため、機械、建築、化学などの理系の方も積極的に採用しており、健康、医療関係の学部・専攻の方の受験もみられます。
民間企業や官公庁など社会人経験を経た方も多く、多様な人材が活躍しています。

専門知識は身に付きますか？任官後のキャリアパスは？

任官後は、第一線での業務を通じて関係法令や安全衛生の考え方などの専門知識を習得します。配属部署によっては建設計画の審査や機械の検査も行います。キャリアを積み、幹部職員として業務計画の立案や労働局・監督署の組織運営にも携われます。
これらを支える研修体制は確立しており、任官時点での法律知識の有無は問いません。

——— 続きは OPENゼミで！ご来場をお待ちしています ———

開催日	開催労働局	青字の開催地はオンライン参加可能 (一部開催地はオンラインのみ)
7月23日(木)	千葉、和歌山、岡山、鳥取、愛媛、沖縄	
7月24日(金)	北海道、宮城、秋田、茨城、埼玉、東京、岐阜、静岡、大阪、奈良、鳥取、佐賀、宮崎、鹿児島	
7月25日(土)	長野	
7月26日(日)	栃木、厚生労働省(東京)	
7月27日(月)	石川、奈良、香川	
7月28日(火)	茨城、神奈川、富山、福井、京都、広島、佐賀	
7月29日(水)	福島、兵庫、岡山、島根、福岡、長崎	
7月30日(木)	岩手、三重、高知、大分	
8月1週目	8/3(月)福岡、8/6(木)静岡	

参加を希望される方は「労働基準監督官採用試験」→「これから受験をお考えの方へ～労働基準監督官業務説明会～」にある「開催労働局・開催日時一覧」をご確認の上、各開催労働局に直接お申込みください。



労働基準監督官
採用試験